

問1-1. 問1で「どちらかといえばそう思わない」又は「そう思わない」と答えた方にお聞きします。その理由はなんですか。

(問1. あなたは柳津町が暮らしやすい町だと思いますか。)

性別	年代	記述
女性	60歳代	路線バスが電話をしないと上がらない
女性	60歳代	若い人が働く場所がない
男性	60歳代	若者が定住しないのは暮らしやすいからだと思う
男性	40歳代	交通や買い物が不便
男性	60歳代	医療機関までの時間、通勤通学の距離、日常生活品の購入など生活していく中で特に支所地区の距離と時間、その不便さに対応する公共施設や民間ベースの活動が整えば子供から高齢者まで暮らしていきたい町と思える
女性	60歳代	柳津からだとお店有るも、病院に行くには坂下まで近い。西山はいろいろな面で不便
男性	60歳代	他の町に住んだことがないから
男性	50歳代	田の猪の被害、町での補助等はあるが、何をやるにも時間とお金もかかる。農作物が作りにくくなった。
女性	20歳代	・働き口が少ない ・気候的な面で少々暮らしにくい（雪が多い）
女性	15歳～19歳	遊ぶところが少ない
男性	15歳～19歳	道が大体狭く、車などが通るとき少し危ない。あとは、町に活気がないこと
女性	50歳代	子育てには経済的支援が充実しているため暮らしやすい街だと思うが、医療機関や公共交通機関が充実しているとは言えない。

性別	年代	記述
男性	50歳代	飲食店が少ない、医療施設がない
男性	30歳代	いろいろ不便
女性	70歳以上	過疎化がますます進み、子供も近くにいないし、医療関係も遠いし、交通の便も悪いし、これから先不安だ。
男性	60歳代	観光地なのに来客の姿がない
女性	60歳代	リーダー不在の町に見えるのは私だけではないと思います
男性	50歳代	どこに行くにも車
女性	50歳代	医療機関が少ない
女性	50歳代	高校が遠い、買い物が不便
男性	60歳代	夏は暑いし除雪が下。ゴミ、水道、以外行政サービスが悪い
男性	60歳代	食事をする場所が少ない
男性	50歳代	駅に行くのに不便
女性	60歳代	本屋さんがない。欲しい本があっても坂下まで買いに行かなくてはいけない。
男性	40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・医療が充実していない。 ・働く場所が少ない
男性	60歳代	山間地のために不便です
女性	20歳代	若者にとって楽しくない
男性	40歳代	ボランティアや会合が多すぎ

性別	年代	記述
男性	50歳代	1. 町hpで情報を調べずらい。 2. 選択肢が少ない 3. 不便（ゴミ、雪 他） 4. お金がかかる（除雪、交通、他）
男性	50歳代	若い人が残れない。役場職員が仕事が出来ない。
女性	50歳代	医療機関、公共交通機関に不安がある
女性	60歳代	全てが中途半端
女性	60歳代	あらゆる面で不便。生活、医療、交通、職場などだけでなく、文化面でも不便。役場のサービスも悪い。冬期間は、特に住むのがつらい。老親の介護のために戻ってきたが、公的支援はない。デイサービスより、病院の無料送迎が必要だが、行われていない。
男性	40歳代	ごらくがない・店がない
男性	30歳代	不便である
男性	60歳代	社会福祉が十分でない。高令化の中で今後もっと充実されたものを取り上げていただきたい。
男性	70歳以上	若い人の働く場所が少ない。
不明	不明	交通 医療
男性	15歳～19歳	電車が少ない
男性	15歳～19歳	交通に不便
女性	15歳～19歳	坂下とか若松にはいろいろな遊ぶ所があるけど柳津にはないから
女性	20歳代	発展性がない
女性	20歳代	若い人が住みたいと思わない。魅力がない

性別	年代	記述
男性	30歳代	必要な物が揃わない。わざわざ遠い
女性	40歳代	大型スーパーや医療機関がない
男性	50歳代	マナーの悪さ 言葉の悪さが目立ちますね◎仮にも日本人であるなら、マナーを守ってほしい。この町の人間は、中国人と同じですね。
女性	15歳～19歳	只見線の電車の本数が少ない。店が少ない。
女性	50歳代	すべて不便だから
男性	60歳代	働く所少ない
男性	60歳代	○人口減少で町の対策は理解できないことはないが、町に残ったりUターンしたりできる町づくりの根本をもっと考えないと「コロナ」で都市のこわさをわかったはず。田舎の良さを親にも子供にも教育するべき、町長はそのビジョンを示すべきと思う。
男性	60歳代	。交通の便が悪い 。大型店舗、学校、病院等が遠い
男性	50歳代	・病院がない。・勤務先が少ない。 ・災害時避難先が遠い。 ・R252以外の幹線道路が狭い。
男性	50歳代	他の町とくらべた時不便を感じる
男性	60歳代	限界集落になりつつある地区の存在がいくつか出てきており、町としての存在も危ぶまれる。
女性	70歳以上	あわまんじゅうしか町の名物しかなくなってない様に思います
男性	60歳代	子供の声が聞こえない為活気が感じられない。ここ数年後には廃村も出てくると思われる。
男性	30歳代	車が無いと生活が出来ない。
男性	30歳代	働く場所が少ない

性別	年代	記述
男性	30歳代	交通、医療と不便なところが多い
女性	30歳代	交通の便が不便
男性	40歳代	不便な事が多々有る。
男性	60歳代	税金が高い
男性	60歳代	何につけても不便
女性	60歳代	買物が不便、病院が無い
女性	60歳代	不便だから
男性	60歳代	仕事がないこと
男性	40歳代	大きい病院がない 交通も不便。
女性	50歳代	医療機関が少ない。交通の便が悪い 運転免許が無いと買い物が不便
女性	50歳代	ドラッグストアが無い、衣料店など少ない、買い物する場所がそろってない。
男性	60歳代	職場もないし、ご楽の場もない、勝気がない
男性	40歳代	・若い人が働く場所がない ・店を出しても潰されてしまうし、ブラックだ!!
男性	50歳代	職場がない(少ない)
女性	50歳代	働く場所が少ない。だから若い人が住めない。若い人が住めないから町に活気がない。町自体も変わっていけない。新しい発想がない。魅力がない。
男性	60歳代	こういうのが多すぎる

性別	年代	記述
男性	30歳代	若者に対する施策が少ないから他県、他市町村へ行ってしまっているから。
女性	70歳以上	文化活動及びその施設がない。医療設備が少ない
女性	40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物できる店が少ない ・娯楽施設がない ・医療体制が不安 ・教育体制が不安
女性	60歳代	ダイソーが無い為
男性	70歳以上	若い人が働く産業も少なく、公共事業や新築住宅も他町村業者が仕事をしている例が多く、町内の商店が有っても物一つ売れない現状が有ります。特に、役場職員が住宅新築を他の業者に頼んだり、職員の多くが他の町に住んでいる等、町職員さえも町に魅力を感じていないのだから、暮らしにくいでしょう
女性	15歳～19歳	電車を使用するのですが、本数が少ないので不満を持っている。
男性	60歳代	未来像が見えない。言葉ではなく、将来に向けた動きが感じられない。
不明	不明	人口が少ないため施設が少ない（スーパー、病院等）
女性	30歳代	子供の遊ぶ場所が整っていない。買い物の種類により（洋服・本など）遠くまで行かなければならない。
女性	40歳代	店も交通機関もそろっていない
男性	70歳以上	<ol style="list-style-type: none"> 1、医療体制が貧弱 2、文化施設が無い。 3、書店が無い。 4、ふれあい館の図書室は蔵書が少ない。（只見町にある様な古本でも良いと思う）。
不明	不明	交通が不便 医療、歯科医の面

性別	年代	記述
男性	60歳代	1、将来が見えない→町政が何を目ざしているのか町民に届いていない。 1、少子化対策ができてない、 1、農業の今後は？
男性	30歳代	働く場所がない 娯楽を楽しむ事ができない
男性	60歳代	ブタのにおいで住みづらい
女性	60歳代	買い物等、病院—まだ不十分である
女性	50歳代	買物が不便 柳津に下がっていくなら坂下に行った方が近いから
男性	20歳代	商品券等の使える幅が狭い、スーパー、ドラッグストア関係は坂下町に行くし、暮らしに関してははいまいちと感じる。商品券はいらない。
男性	40歳代	働く場所が無い 交通の不便
男性	40歳代	店が少ない
女性	50歳代	(勤務地に遠いし冬は危険が伴います。)
女性	50歳代	働く場所がない。他人への干渉が多い。カメ虫が異常に多い。
女性	20歳代	車を持っていないと交通の便が悪い
女性	60歳代	誹謗中傷が多い
女性	60歳代	不便なことが多い。買い物や病院など
女性	15歳～19歳	コンビニなど店がない。遊ぶ場所がない
男性	40歳代	何をするにもふべん。
女性	60歳代	買物する場所がない

性別	年代	記述
女性	60歳代	老後の不安
女性	70歳以上	若い時代には柳津町の四季折々がどこにも負けず素敵な町と思っていたけど、老人になって始めて、どこへ行くにも（商店街もなく）大きな病院もなく、人口も少ないだんだん暮らしにくい町になって来たと思う。
女性	30歳代	医療機関が遠いので心配。交通機関が不便。
不明	不明	買物・通院など他町に行かないといけない事が多い点 駅が遠い バスが只見線と連絡していない など
女性	60歳代	交通の不便
女性	40歳代	仕事がなかなか見付からない
男性	50歳代	農作業が超いそがしい この時期に本人の予解も無しで一方向的にこのようなアンケートを送り付けてくる様な町は暮らしにくい
女性	60歳代	交通の便が悪い（バス、電車等）
女性	40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・他人の足を引っばる ・外から来た人にウェルカムではない。
男性	50歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・どうにもならない自然環境（冬期間の雪） ・親密すぎる地域の人間関係が場合によっては住みにくい
女性	50歳代	働く場所がない。 役場職員は町民の事を考えていない。
女性	30歳代	医療が不安な所…（坂下・若松へ行くしかない） 買い物が不便…（同上） 高校通学が出来ない…（下宿しなければならない）
男性	40歳代	老後の心配
男性	30歳代	活気がなくて出て行きたい
男性	40歳代	何も変わっていない
女性	15歳～19歳	若い人の意見をきいてない

性別	年代	記述
女性	50歳代	病院とか歯医者とか医療機関が少なく、隣の町へ通うのに電車とバスの乗る回数が少ない。
女性	30歳代	保育所が働いている家庭に協力的ではない。農家に対する理解力が足りない。
女性	20歳代	商業施設や医療機関が少ないと思う。
女性	40歳代	人が少ないので仕方ないとは思いますがやる事が多い。人間関係が面倒。収入が少ない。